

募集要項

- ①原則として20歳以上から39歳以下で（運用として45歳未満の方も可能です）、農業に対し意欲があり健康な方。（毎年2名程度）
- ②研修終了後、北広島町に定住し新規に農業を開始する方。
（集落法人の構成員となる集落法人就労を含みます。ただし単なる雇用の場合は対象になりません）
- ③就農後において地域の人と協調して農業経営及び地域生活のできる方。



定着実績

本町の研修制度を活用して就農した新規就農者の状況（H23年度以降）

認定研修生受入人数	新規就農数	令和4年研修生
13人	12人	2人



R5年度就農予定2名
新規就農定着率が9割以上

まずは北広島町に
「来て」、「見て」、
感じてください！

「知らない土地での生活が不安」
「実際にどんな農業をしているのか」と
お考えの方に、町内をご案内しています。
農家に直接話しを聞くことで、
農業の楽しさや苦勞を感じていただけます。
農家との日程調整が必要なため、事前にお問合せください。

MESSAGE

農業は、きつい作業や自然との戦いで決して楽な仕事ではありません。ですが、自らの栽培技術を高め、販売力を高めることにより所得を高めていくこともできる夢のある仕事です。新規就農を検討されている皆さんが、就農するためにはいくつものハードルをクリアしていく必要があります。これまでも、農業経験がない、農地がない、資金がない、住むところがないなど多くの悩みを伺ってきました。本町は「技術・農地・資金・住居」など様々な問題に関係機関と連携して総合的に皆さんの新規就農を応援します。



お問合せ

まずはメール or お電話にてお気軽にご連絡ください！
事前相談にて研修の詳しい内容や申請方法をご案内させていただきます。

北広島町
農林課農業振興係

〒731-1595 広島県山県郡北広島町有田1234番地
Tel : 050-5812-1857
Fax : 0826-72-5242
E-mail : sangyo@town.kitahiroshima.lg.jp

頼もしい
仲間が
待ってるよ！

北広島町で 農業しよう

就農に
ついての
ご案内



北広島町ってどんなまち？

広島市中心部まで車で約40分。都市と自然のはざまに北広島町があります。まちには、ショッピングセンターや公共交通機関ほか、7つの認定こども園と3つの保育園があり、農業をしながら子育てする環境が整っています。また、10箇所の医療機関や3箇所の救急病院があり、医療体制も安心のまちです。夏はキャンプやトレッキング、冬にはスキーやスノーボードなどのウィンタースポーツが年間を通じて楽しめる自然環境に恵まれています。また、標高差や寒暖差を利用した農業が営まれており、隣接する中国地方最大の広島都市圏への「食」の供給に重要な役割を果たしています。近年は、安心・安全な農産物の生産のみならず、都市と農村の交流事業や農産物の6次産業化の取り組みも広がっています。



北広島町認定就農研修生制度とは

認定就農研修制度は、本町での新規就農または、町内の集落法人への就労を希望する新規就農希望者に対して先進農家における農業技術研修を原則2年間実施するものです。

研修生の認定を受けるためには、北広島町新規就農支援会議が実施する2回の面接を受けていただく必要があります。

就農研修 支援

認定研修生は、研修期間中(2年間)は農作物の販売などができないため収入がない状態になります。そのため、町が月15万円の就農研修支援交付金を2年間交付します。国の新規就農者育成総合対策(就農準備資金)を受けられる場合には、月2.5万円を上乗せして交付します。

初期投資 支援

認定研修生が2年間の研修を終え、就農(法人就労を含む)する際に必要なパイプハウスの建築や、農業用機械の購入などに必要な経費の一部を補助します。

- ・補助金 補助率 1/2以内
- ・補助限度額 250万円

国の新規就農者育成総合対策(経営発展支援事業)を活用する場合は以下のとおりとなります。

- ・補助金 補助率 1/4 以内
- ・補助限度額 250万円

経営安定 支援

就農(法人就労を含む)後数年は農業所得が不安定なこともあり、農業経営を早期に安定させるために、3年間の助成を行います。

- ・交付金年額 1年目150万円、2年目130万円、3年目110万円
- ・国の新規就農者育成総合対策(経営開始資金)を受給する場合は町の経営安定支援交付金を受けることができません。

●研修について

認定研修生の研修内容は、先進農家による栽培技術や農業経営についての研修をメインに行いながら、県の農業技術指導所による毎月1回の座学研修や市場調査や農産物の販売体験など幅広い研修内容となっています。

研修内容は、研修生の実態にあった研修内容とするために毎月研修企画委員会を開催し、県・JA・町の職員が研修内容について検討を行っています。

北広島町で農業してみませんか？



夏秋トマト・ミニトマト

- 冷涼な気候を生かした良品質な品種
- 県内屈指の産地で共同選果場も完備
- 環境に優しい省力化生産に取り組み

ホウレンソウ



- 冷涼な気候を生かした良品質な品種
- 周年栽培できる南部では、小松菜等の軟弱野菜を組み合わせた生産

花壇苗



- 県内屈指の産地でパンジー等の花壇苗を栽培
- 野菜苗やイチゴ等の複合経営可能



就農10年目

INTERVIEW

1

卒業生が産地を牽引!



前職は自衛隊。任期満了後は起業を考え始めていた時に「研修生」1期生に応募。1年目は師匠となる先進農家で栽培管理や出荷業務を学び、2年目は町の研修施設を借りて災害を考慮した経営方法や栽培技術を磨きました。不安だったお金の面は、2年間の研修中は町から毎月『就農研修支援金』やハウスや機械の導入には『初期投資支援金』、就農後は『経営安定支援』のサポートがあり、技術支援の他に交付金の支援があり心強かったです。3年目に30aのホウレンソウ栽培で就農し、8年目に法人化。現在はホウレンソウが76aと水稲を1.1ha、更に枝豆の後作での露地ホウレンソウを80aと規模を拡大し、従業員も雇用しています。

多川純利さん

卒業生(1期生)



栽培品目
ホウレンソウ、枝豆、水稲



大石克哉さん

指導家



栽培品目
トマト、ホウレンソウ

活躍農家にインタビュー

先進農家として研修生を育成!

2012年から研修生を受け入れ、これまでに3名の卒業生が独立就農し、現在は2名の研修生を指導しています。2年間の研修期間中は、私が管理するハウスにて生産技術はもちろん、卒業後にはJAのミニトマト部会の平均収量5t/10aを上回る6t/10aの収量を目指せるように、研修生一人ひとりの力量や得手不得手を見極めながら運営技術も指導しています。農業では体力的にも精神的にも辛くなる時が必ずやってきます。そんな時に支えになれる存在でありたいと思い、研修後も卒業生のハウスを訪問したり、栽培や経営の相談に乗ったりサポートを続けています。

INTERVIEW

2

研修受入11年目



手厚い支援制度が就農の決め手!

研修1年目

INTERVIEW

3

前職は自動車メーカーに勤務。叔父が経営する法人の立ち上げメンバーとして「農業」に携わることに。農作業を経験する中、自分が栽培した農作物でお客様が喜んでくれる様子を見て、「自分も独立してやってみよう」という思いが強くなり、2022年4月から研修制度を活用し、大石さんのもとでミニトマトやホウレンソウの栽培を学ぶことになりました。北広島町は補助金などの研修制度が充実していることが大きな魅力。小さな子供がいるので、自然が豊かで子育てしやすい環境なのもいいですね。田舎の割に学校も多くて移住者も増えていると聞きます。独立に向けて、大石さんから多くのことを学びながら、スキルアップを目指していきます。

隅岡元氣さん



栽培品目
トマト、ホウレンソウ

研修生